

建築学科

高度建築生産

対象	4年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	長島茂			実務 経験	有	職種	構造設計				

授業概要

大規模建築物に応用される建築生産について学びます。

到達目標

これまで学んだ建築生産の知識を確認した上で、より高度な生産知識を得る事を学習の目標とし、次の3点を到達目標とする。①実務における施工業務の内容を理解する。②起こり得る事故や、クレームを理解し、対応方法を考えることができる。③欠陥や瑕疵について理解し、事例の知識と対応方法を理解する。

授業方法

既に学んでいる建築生産各プロセスをふまえた上で建築生産システムの総合的な関連性を学び、我が国における建築生産の現状を実践的に理解する。

成績評価方法

授業態度、平常点、期末テストなどを総合的に判断する。

履修上の注意

これまでに学習した建築生産の延長線上にある授業であるためその理解と復習を意識して望むこと。欠席しないことを心掛け、授業時間数4分の3以上出席しない者は、定期試験を受験することができない。日本工学院授業心得を守ること。

教科書教材

なし

回数	授業計画
第1回	建築生産システム概論①
第2回	建築生産システム概論②
第3回	建築生産システム各論①

建築学科

高度建築生産

第4回	建築生産システム各論②
第5回	施工管理計画と実践①
第6回	施工管理計画と実践②
第7回	施工管理計画と実践③
第8回	施工管理計画と実践④
第9回	建築工事のクレーム①
第10回	建築工事のクレーム②
第11回	建築生産に関わる法律と制度①
第12回	建築生産に関わる法律と制度②
第13回	建築生産と倫理①
第14回	建築生産と倫理②
第15回	これからの建築生産